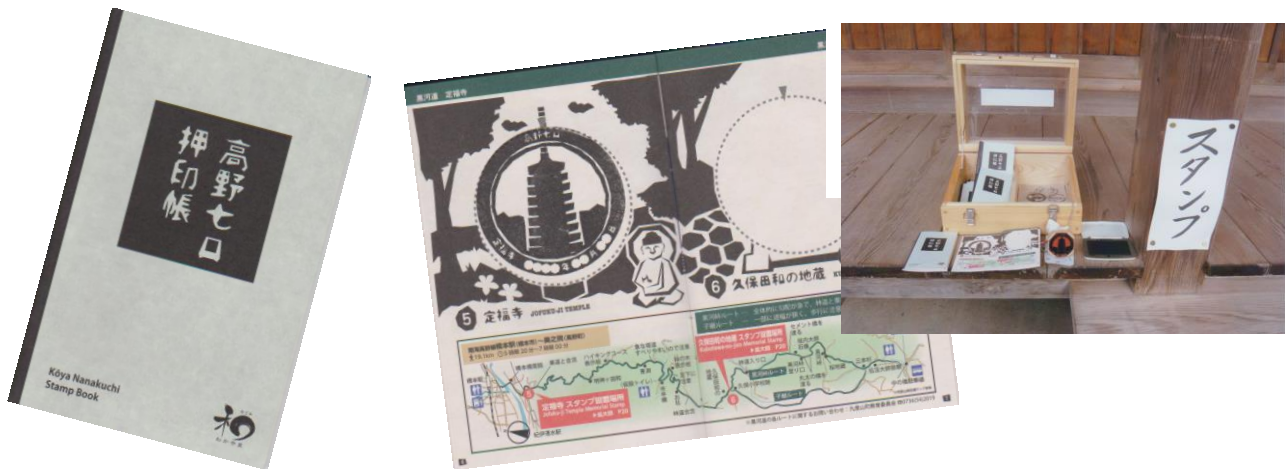


黒河(くろこ)の会便り 第3号

◆「高野七口押印帳」



和歌山県観光振興課が作成した「高野七口押印帳」を賢堂定福寺に置いています。この押印帳は高野七口参詣道に関係する18か所の寺院、神社などを切り絵風スタンプ帳にしたもので、黒河道ルートには賢堂の定福寺と、久保小学校の近くの久保田和の地蔵が含まれています。ほかにも学文路の西光寺・刈萱堂、九度山の慈尊院などがあります。スタンプを押すことで絵がきれいにつながり、絵柄が完成します。祈りと癒しのスタンプラリーをお楽しみ下さい。

◆黒河道 世界遺産早期登録 の看板



黒河道世界遺産早期登録の看板が地域の画家：伴さん（清水在住）により描かれました。伴さんは西畑の「ごんぼ遊び塾」のイラストマップなども作成した方で、コンパネ2枚に書かれた絵が淵の川のフェンス（国道370号から黒河道の上り口に当たる、南海電鉄の踏み切り手前）に設置されています。

◆おしらせ

- ・先の台風18号でわらん谷に掛けた2か所の内1つの渡り橋が流されました。橋本市教育委員会ではこの修復と秋の道開けを計画しています。
- ・黒河道の世界遺産追加登録について、和歌山県は一応の申請をすませ来年の2月の文化庁での審査を待っています。和歌山県と橋本市の教育委員会では申請書類の不備など、指摘を受けた部分の追加申請をしています。
- ・黒河の会と連動して、「ふるりの山に花を」の会（会長 上野剛敬）を立ち上げています。10月15は県会議員 向井かくぞう氏を定福寺にお招きし、来春予定している桜の苗木植樹のための準備会を開きました。